

令和5年度 研究の全体構想

大野町立北小学校

学校の教育目標

かしこい子

やさしい子

たくましい子

主体的に学び、考えを広げ、深め、表現する児童の育成

～自らの考えをもち、話し合いによって解決を目指す学級活動を核として～

め
ざ
す
も
の

＜児童の実態＞

- 課題に対して、意欲的に取り組みことができる児童が多い。
- 様々な活動に、仲間と協力して取り組むことができる。
- 自分の考えを形成し、**表現する力が弱い**児童がいる。
- 問題に気付き、自ら解決しようとする意識が薄い。**
- 学習内容や獲得した力を教科・他領域の授業や日常生活に生かそうとする意識を高める必要がある。

＜目指す児童＞

- ・自分の考えをもち、仲間の前で自信をもって話すことができる。
- ・自らを含む環境の中の問題点に気付き、解決しようとする意欲をもつことができる。
- ・仲間との交流を通して、課題解決に向かうことができる。
- ・学んだことや獲得した力を日常の様々な場面で活用しようとする事ができる。

＜教師の共通意識＞

- ・主体的・対話的で深い学びを導き出す授業を工夫する。
- ・「北小の授業はこれだ!!」の視点で授業改善を図る。
 - ◇ 自分の考えをもつ時間と場の確保
 - ◇ 考えづくりにつながる交流の場の位置付け
 - ◇ 積極的に表現するための話し合いの場の工夫
 - ◇ 意見をつなげ、関わらせ、深めるための切り返しや構造的板書の工夫
 - ◇ 習熟・活用・思考力の育成

研究 (実践仮説)

自分の周囲にある問題点に気付き、**解決のための考えをもって**仲間と交流し、**解決方法を見つけ出すための道筋を示す**指導・支援を工夫することで、主体的に学び、思考力や表現力を高める児童の育成ができるであろう。

研究内容 1	研究内容 2	研究内容 3
付たい力を明確にした話し合い活動の年間指導計画作成と他領域との関連	付たい力を明確にした話し合い活動の段階的指導・援助の在り方	話し合いのよさを実感し、成長を自覚するための評価の工夫
①1 単位時間ごとの付たい力を明確にした年間指導計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの場の明確化 ・教師の出場と児童主体の場の明確化 ・発達段階に応じた話し合いの仕方 ②行事・他領域との関連構想図の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・学校及び児童会行事との関連 ・特別の教科道徳、教科、総合的な学習との関連 ・委員会・クラブ活動との関連 	①話し合い活動を充実させるための指導の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの仕方の段階的指導と役割の工夫 ・教師の出場の明確化と工夫 ②話し合いを活発化させるための事前指導の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・問題意識や興味関心を高める工夫 ・児童の思いを汲み上げるための工夫 ・議題提案につながる問題提起の場の工夫 ③これからの生活につながる意欲付けの工夫	①自己評価の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・評価項目の吟味 ・振り返りの場のもちかた ②教師による評価の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・付たい力とそれに関わる児童の姿に対する評価 ③仲間の相互評価の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの目当てに対する姿の評価 ・話し合い後の行動の変化に対する姿の評価
学習基盤・基礎学力向上・言語環境		
<ul style="list-style-type: none"> ・「聞き方（聴き方）・話し方」の段階を共通理解し、児童が仲間の考えをじっくりと聴いて理解し、自分の考えを自分の言葉で伝えられるように指導・支援する。 ・朝の会・帰りの会や各集会、委員会等で話す機会を設定し、自分の考えをもって話すこと、声の大きさや速さ、間、強弱、目線等、聴く相手を意識して話すことができるように指導・支援する。 ・特別の教科道徳や教科、総合的な学習の時間等でも、仲間とともに考えや思いを広げ深める場を位置付ける。 		
研究の基盤となる体制		
【 研究体制 】	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の研究委員会や毎週の学年部会の中で、研究の方向や成果、課題を共有し、全職員が同一歩調で進める研究 ・全校研2回と部研を通し、全職員の授業公開の実施 	
【 学級づくり 】	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動主任（仲間づくり部会）から提案 ・係活動、朝の会、学級遊びなどを中心とした学級づくり 	
【 学習づくり 】	<ul style="list-style-type: none"> ・学習づくり部長及び児童会「運営委員会」担当から提案 ・「聞き方（聴き方）」「話し方」を中心とした全員参加授業づくり 	

令和5年度の研究推進

☆研究内容1に関わって

- 年間指導計画の中で、学級活動（2）（3）の内容を見直し、学級活動（1）の時間が確保できるようにする。学級の諸問題をタイムリーに話合することができるように、時間が取れるようにする。
- 学校行事や学習内容に関わって、先の見通しをもって話合いができるように、行事計画などを児童に伝える。
- 委員会、クラブ活動などとの関連を図る。

☆研究内容2に関わって

- 教師の出場を、明確にする。指導案上にも表す。
- 話合いの最終形態を高学年の学級活動で示す。

進め方、役割、司会のメンバーなど

→それに応じて、1年生ではどの段階まで目指すのか、2年生では・・・と段階を追って、明確にしていく。

- 児童の思いを汲み上げる場を設定する。

学級ポスト、朝の会・帰りの会のお知らせ、日記、アンケート、その他

☆研究内容3に関わって

- 評価の場の位置付け

→終末に、自己評価及び相互評価の場の位置付け

→話合い結果を受けた取組状況の掲示と、継続した評価